報道資料　　2026 年 3 月 13 日

静岡市の「旧マッケンジー住宅」（国登録有形文化財）を再生

婚礼大手ノバレーゼ 結婚式を行うゲストハウスを 3 月開業

夫妻の愛した洋館は待合室として活用、新築する建物で披露宴実施

結婚式場大手の（株）ノバレーゼ（東京、東証スタンダード上場、4/1 から（株）オンザページに社名変更）は、国の登録有形文化財である静岡市の「旧マッケンジー住宅（通称 旧マッケンジー邸）」とその周辺市有地の管理・運営を同市から受託し、結婚式やレストラン営業を行うゲストハウス「HOMAM（ホマム） 旧マッケンジー邸」を開業します。

開業日は 2026 年 3 月 14 日（土）で、結婚式の初施行は 3 月 20 日（金・祝）です。

今回、住宅を含む約 7300 平米の敷地一帯を「HOMAM（ホマム） 旧マッケンジー邸」と名づけ、2 階建ての建物（延床面積 875.51 平米）を敷地内に新築し、全体を一般開放します。

新築する建物は、最大着席数 120 人のレストラン兼イベント会場や 100 人を収容できるミュージックホールを設け、それぞれ結婚式場（レストラン兼イベント会場）やチャペル（ミュージックホール）としても利用できるように設計します。

左の洋館が「旧マッケンジー住宅」で、右が新築する建物　※イメージ

静岡県内の挙式・披露宴の総額 3 年前と比べ 54.6 万円増

県内で結婚式場のオープンやリニューアルが相次ぎ、競争激化

「ゼクシィ結婚トレンド調査」によると、2024 年度の静岡県の挙式・披露宴にかける平均総額は 347.7 万円で、新型コロナウイルス禍で沈んだ 3 年前（2021 年度）の 293.1 万円から 54.6 万円増と伸長しています。これは全国平均（343.9 万円）を上回っており、県内の婚礼需要の回復がうかがえます。

そんな中で今年（2026 年）、県内駿河区には当社のほかにも結婚式場が新たに誕生する予定です。対して既存施設は昨年から、チャペルなど施設のリニューアルを相次いで打ち出し、競争が激化しています。

NOVARESE

＜施設概要＞

「旧マッケンジー住宅」は建物を残して活用

待合室やブライダルサロン、夫妻の歴史を学べるスペースに

駿河区で 1940 年に竣工した歴史的洋館「旧マッケンジー住宅」は、名建築家ヴォーリズの設計で、静岡茶の産業振興や静岡市の社会福祉向上に尽力した故マッケンジー夫妻の旧居宅として、広く知られています。

2 階建ての施設は、外観をそのまま保存します。館内も食堂や書斎、居間など既存の設備を生かしながら、ソファやラグなどのインテリアを新たに設置する程度の改装にとどめ、趣のある雰囲気の維持・向上を図ります。

1 階は各部屋をラウンジスペースとして一般開放するほか、結婚式の日には参列者の待合室として活用します。また 1 室をマッケンジー夫妻やヴォーリズ、建物について学べる場として利用します。買い付けていたお茶や使われていたグランドピアノ、市民との交流を写した写真、生い立ちや事業に関する歴史情報のパネルを展示したり、映像として流したりします。2 階は、かつての寝室をブライダルサロンとして使います。

食堂（左）をラウンジスペース、広間（右）をエントランスホールとして活用する

2 階建てスペイン風の新館、海側は全面ガラス張り、眺望生かす

「旧マッケンジー住宅」の芝生を挟んだ南側（海側）は、2 階建ての建物（延床面積 875.51 平米）を新築し、レストラン兼イベント会場やミュージックホールとして利用します。

建物の海側は全面ガラス張りにし、駿河湾の海沿いに立つ眺望の良さを生かします。

外観は赤い瓦の屋根と白い壁のスペイン風のデザインにまとめ、スパニッシュ様式の旧マッケンジー住宅との調和を試みます。

また、旧マッケンジー住宅 1 階の一室（居間）と回廊で結び、新旧の建物間を行き来できるようにします。回廊は、優美な円形状（アーチ型）の意匠を施し、旧住宅の異国情緒あふれる雰囲気を守ります。

新棟の周りは植栽で囲み、芝生とともに緑あふれる、心地良い空間にします。

レストラン兼イベント会場で披露宴、ミュージックホールで挙式

新館の 2 階は、レストラン兼イベント会場とミュージックホールを設け、土日祝日は結婚式の披露宴会場やチャペルとして活用します。海側は全面ガラス張りの採光性の高い造りで、新郎新婦は駿河湾の海と空を背景に、光が降り注ぐ会場の中、記憶に残る美しい式を挙げられます。

レストラン兼イベント会場は平日や婚礼予約のない土日祝日に、レストラン営業（4／5～）を通年で行います。ランチ時間（11:30～14:00L.O）の営業で、100 種類ほどのメニューが楽しめるビュッフェスタイルを予定しています。食材には、静岡産も積極的に取り入れます。レストランの最大収容人数は着席 120 人、立食 200 人です。また地元の食材を使った一般向けの食育イベントを開催するほか、企業の会議や宴会、パーティー等の貸し切りにも対応します。

ミュージックホールは平日、学校や市民の方の音楽の発表会等に使っていただきます。収容人数は 100 人です。

新館 1 階は、エントランスホールがあるほか、披露宴時の親族の控え室を用意しています。

バンケットとチャペルとしての利用イメージ

芝生ではマッケンジー夫妻のおもてなしイベントを復活

旧マッケンジー住宅は敷地内の日本庭園や芝生も美しく魅力的です。

今回、旧住宅の正面にある西側の日本庭園は手入れをしてそのまま残し、いつでも散策できるようにします。

また南側の芝生は、夫妻が近隣の方を招待していた茶会を復活させるほか、気候の良い時期にはビアガーデン等のスペースとして活用するなどします。

その他、更地だった敷地内北西部分一画（旧乳児院跡地）に、30 台の駐車場スペースを整備し、多くの方が来館できるようにします。うち 1 台は大型バスの停車場として使い、観光誘致活動も行います。

＜開発背景＞

ノバレーゼが得意とする歴史的建造物の再生

ノバレーゼはこれまでにも、玄関が国の重要文化財に指定されている旧桜宮公会堂（大阪府）と、建物そのものが国重要文化財に指定されている泉布観（せんぷかん）の 2 施設がある地区一帯を大阪市から借り受け、敷地を市民に一般開放しながら、同公会堂で結婚式場やレストランを運営しています。事業は 2013 年 4 月から継続しています。

その他、国登録有形文化財の「芦屋モノリス」（兵庫県）や神戸市有形文化財の「ジェームス邸」（兵庫県）など、多くの歴史的建造物を、外観や内観の歴史的価値を損なわずに結婚式場として再生、活用しています。

取り組みは高い評価を得ており、維持、改修に優れた建築物を表彰する公益社団法人ロングライフビル推進協会の「BELCA（ベルカ）賞」を二度受賞しています。こうした豊富なノウハウを今回の「旧マッケンジー住宅」の運営に生かします。

今後も、地域内の持続可能性を高める「ローカル SDGs（地域循環共生圏）」の構築に取り組み、観光需要の掘り起こしや雇用創出につなげ、地方創生に貢献します。

＜関連施設＞

「ホマム」近くにドレスショップを開業、衣裳から当日の結婚式までをサポート

当社は、ウエディングドレスをレンタル・販売するドレスショップ「エクリュスポーゼ静岡店」（静岡市駿河区豊田 2）を、2025 年 7 月 18 日（金）に開業しています。

「ホマム」近くにドレスショップを開業することで、衣裳から当日の結婚式までをトータルにサポートできる体制を整えています。

当社が静岡市に出店するのは「エクリュスポーゼ静岡店」が初めてで、静岡県での新規開業は約 20 年ぶりです。これまで 2007 年に浜松市にオープンした結婚式場「アマンダンライズ」（浜松市）とドレスショップ「エクリュスポーゼ浜松店」（同市）で、質の高いサービスを提供してきました。今後は県内 4 店舗となり、ブランドの認知度を高め、顧客の裾野の拡大につなげます。

＜ご参考情報＞

旧マッケンジー住宅とマッケンジー夫妻について

国登録有形文化財である「旧マッケンジー住宅」（静岡市駿河区高松 2852）は、1940 年に完成した洋館で、「旧マッケンジー邸」の通称で親しまれてきました。設計したのは、米国出身の名建築家、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）です。ヴォーリズは 1905 年に来日し、1941 年に日本国籍を取得、代表作の関西学院大（兵庫県）や近江兄弟社（滋賀県）、山の上ホテル（東京都、休館中）、大丸百貨店心斎橋店（大阪府）をはじめ、学校、教会、病院、住宅など約 1600 棟の西洋建築を日本に残したことで知られます。静岡市では、旧静岡英和女学院宣教師館（同市葵区）も手がけています。

「旧マッケンジー住宅」は静岡市内では珍しくなった戦前の洋館の一つで、「スパニッシュスタイル」と言われる赤い瓦の屋根と白い壁が美しい建物です。建物は駿河湾の海沿いに立ち、正面には日本庭園が広がります。

同邸はもともと、日本茶輸出の先駆者である米国人貿易商の故ダンカン・J・マッケンジーと、故エミリー・M・マッケンジー夫妻の居宅として使われてきました。

静岡茶産業の振興に貢献した夫のダンカン氏は 1951 年に他界。その後も夫人のエミリー氏は 20 年以上にわたり住み、乳児院運営など私財を投じて社会福祉の向上に尽力し、静岡市の名誉市民第1号に選ばれました。夫妻が自身の家につけた愛称は「HOMAM（ホマム）」。ペガサス座の星の名前で「おもてなしの心」を意味し、二人の人柄を感じとることのできるエピソードです。建築家のヴォーリズも社会福祉活動家の一人でした。親交を通じて、ヴォーリズとしては最後の個人邸となる「旧マッケンジー住宅」が誕生しました。

市に寄贈されたのは、エミリー夫人が帰国する 1972 年で、1997 年には国登録有形文化財に指定されます。

寄贈後も館内には、アメリカ製調理家具や水洗式トイレ、スチーム暖房など日本では珍しかった設備が当時のまま保存されており、長らく市民に一般開放されていました。

庭に植えられたリュウゼツランは、数十年に一度しか開花しないと言われる花で、2012 年 7 月に咲き、近所で話題になるなどしました。

一方で、海沿いのため潮風の影響を受けやすく、1987 年に市が一度改修したものの、屋根やしっくいの壁がはがれ落ちるなど、劣化が目立っており、なおかつ耐震面の問題もあることから、近年は一般に非公開となっていました。そのような中、静岡市は 2023 年度から屋根のふきかえなどの修繕や耐震

補強の工事など大規模改修に入り、2024 年度に建物を含む敷地一帯を民間事業者の運営によって活用する方針を固めました（2025 年 3 月に改修工事を終え、4 月に一般公開を再開）。

当社は今回、「旧マッケンジー住宅」の運用者ならびに敷地一体の活用事業者として、市の公募により選ばれました。敷地一帯を市などから借り受け、レストランや結婚式場として再生します。契約期間は、2025 年 6 月からの 20 年間です。

＜「HOMAM　旧マッケンジー邸」概要＞

名称	HOMAM 旧マッケンジー邸　［和名］ホマム　旧マッケンジー邸		
開業日	2026 年 3 月 14 日（土）	住所	静岡市駿河区高松 2852 番地
交通	静岡駅南口から 15 分（石田街道線（下島経由東大谷行）「浜敷地」で下車し、徒歩 5 分）		
電話番号	0120-948-343	営業時間	平日 11:00～19:00　土日祝 10:00～20:00
定休日	第 2・第 4 の火曜と、毎週水曜（祝日を除く）　※レストラン営業は毎週水曜定休のみ		
HP	https://produce.novarese.jp/homam/		
面積	敷地面積：7299.98 平米（2208.21 坪）		延床面積：875.51 平米（267.84 坪）
	※敷地面積は、静岡市から借り受けた 6773.5 平米（2049.98 坪）と、民間企業から借り受けた 526.43 平米（159.25 坪）の合計		
収容人数	レストラン兼イベント会場：着席 120 人、立食 200 人		
	ミュージックホール：最大 100 人		
構造	鉄骨造 2 階建て	駐車場	46 台
デザイン	（株）エイジ、（株）空間デザイン一級建築士事務所		

＜会社概要＞

社名	株式会社ノバレーゼ［英文社名］NOVARESE, Inc.　　※東証スタンダード市場上場 ※4/1 から（株）エスクリと経営統合し、（株）オンザページに社名変更		
住所	〒104-0061　東京都中央区銀座一丁目 8 番 14 号　銀座 YOMIKO ビル 4F		
電話	03-5524-1122（代）	創立	2000 年 11 月 1 日
代表者	代表取締役社長　荻野洋基		
従業員数	1099 人（連結）、780 人（単体）（2025 年 12 月末）		
事業内容	ブライダル事業（婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門）・レストラン特化型事業		

国内				海外		
直営			提携	直営		提携
婚礼施設	ドレスショップ	レストラン	婚礼会場	レストラン	フォトウエディングとスパ運営事業	婚礼会場
40 施設※	25 店舗	10 店舗	3 店舗※	1 店舗	1 店舗	2 店舗※

※国内の直営の施設数は開業予定、提携は販売予定も含みます

― 報道各位からの問い合わせ先 ―

（株）ノバレーゼ　広報担当：松井

TEL.03-5524-2299　E-mail: t-matsui@novarese.co.jp